



見崎中学校図書館  
令和4年9月



9月になりました。まだまだ暑い日が続いていますが、これから読書の秋がやってきます。図書館で好きな本を見つけたり、少しつかれた心や体をやすめたりしてくつろいでください。今月はたくさんの新着本や二回目になる読書郵便が、みなさんの読書タイムを充実させてくれると思います。

### 八女市内の中学校をめぐる「読書郵便」

- ☆八女市立図書館の本 30冊と他校からの紹介カードが届きます。
  - ☆貸出期間は10月までの2ヶ月間です。
  - ☆図書館にある本と同じように貸出できます。
  - ☆読んでおもしろかったら、ぜひ「読書郵便カード」に書いてください。**図書館ポイントカードに2ポイント！スタンプがつかます。**
- 書いてもらったカードは本と一緒に次の学校へ届けられます。



図書館に入ってすぐ右側にコーナーがあるよ！

本の準備をお忘れなく。



### あのとき**本**があったから、もう一回頑張ってみようと思えた

「小説を音楽にする」というコンセプトで活動するYOASOBIに読書について、インタビューされた内容を紹介します。

Ikura：お気に入りと出会って本が好きになりました。興味のある入り口から入って、物語を楽しんでくれたらいいな。「Ikuraさんの思い出の本はカラフル、ふたつのしるしなど」

Ayase：自分にはない考えを吸収できるのが本。読書が苦手な人もいるだろうけど、本って読み終わると世界が違って見えるくらいの経験ができるもの。僕も一冊の本が「もう一回頑張ってみよう」と奮い立つきっかけになりました。

「Ayaseさんの思い出の本は君たちはどう生きるか、もものかんづめ、山田雄介のミステリー小説など」



小説『はじめての』について ←今月の新着本にありますよ！

四人の直木賞作家と、YOASOBIがコラボレーションしてできた“はじめて〇〇したときに読む物語”というテーマで書かれた小説です。これらの小説を原作としたYOASOBIの楽曲が、2022年中に配信されるそうです。小説と音楽が結びついたらどんな世界が広がるのでしょうか。体験してみたいと思いませんか？

- 『私だけの所有者』……はじめて人を好きになったときに読む物語（島本理生）
- 『ユーレイ』……はじめて家出したときに読む物語（辻村深月）
- 『色違いのトランプ』……はじめて容疑者になったときに読む物語（宮部みゆき）
- 『ヒカリノタネ』……はじめて告白したときに読む物語（森絵都）

こんな世界があるんだというワクワク感。こんな生き方があるんだという新鮮な感動。この先はどうなるんだろうというドキドキする好奇心。

ステキな本に巡り合えるように。1冊の本によって新たな発見ができるように。あなたの世界がひと回りもふた回りも広がるように。

見崎中図書館は応援します!!

参考資料：『想像から広がるもうひとつの世界 読書の旅にでかけよう』2022年6月1日発行